



黒潮国体スローガン 明るく・豊かに・たくましく



あすに 誇りを

県民の友

昭和44年376号

8

発行/和歌山県知事室広報課 和歌山市小松原通り1丁目1番地

黒潮国体の夏季・秋季大会の会期がきまりました。第二十六回国体は、ようやく実感として、県民の皆さまに受けとめられる時期にきたわけですが、施設づくりも、ピッチがあがってまいりました。

主会場となる紀三井寺運動公園の整備をはじめ、県内各会場の施設も続々と完成しつつあります。黒潮国体を成功にみちびく、もうひとつの大きな要素である新県民運動や、たくましい体力づくり運動なども、地についたものとして、県民の皆さまに迎えられ、県民ぐるみの国体ムードは、しだいに高まりをみせようとしています。

和歌山県知事 大橋正雄

施設づくり・選手づくり・新県民運動

黒潮国体へ みんなの力を



黒潮国体

昭和46年、第26回

●田辺市に建設予定のスポーツ公園

＝会期＝

●夏季大会 9月5日(日)～8日(水)

●秋季大会 10月24日(日)～29日(金)

「黒潮国体」と名付けられた昭和四十六年の和歌山国体。その日まで、あと八十四日(八月一日現在)そして、こころは、本格的な国体準備の年。県内各地では、施設づくり、スポーツ水準の向上、新県民運動が着々とすすみ、国体ムードは日まじに高まってきました。



●右/親子体力づくりも各地で活発です
●上/よい子も花いっぱい運動に参加



施設整備は、計画どおり順調にすすんでいます。既存施設をフルに活用する「簡素な団体」を基本原則としており、すでに、完成している主会場の紀三井寺運動公園、県立体育館、秋葉山県民プールなどは、国の方でも太鼓判を押しています。

秋には、新宮市に紀南スポーツセンター、日置川町に町営テニスコートが完成するなど、市町村の協力をえて、来年度中には、すべての施設が完成する見通しです。

和歌山国体のシンボルマーク

県章を形づくっている三本の線は、「黒潮国体」の黒潮の流れをあらわし、外側(青)は「たくましさ」、まん中(黄味だいたい)は「明るさ」、内側(緑)は「豊かさ」をあらわしています。

スポーツ水準向上へ

目標は、男女総合優勝と夢を大きくふくらませる県体育協会。すぐれた県内選手を養成しよう、昨年十二月、県国体実行委員会に「スポーツ水準向上対策委員会」が発足しました。各競技団体が、選手強化の具体案をたて、強化合宿士・日練習会、県外遠征、招へい試合、コーチ講習会、研修会が活発に行なわれ、最近では、全国大会、近畿大会で、本県選手の活躍が目立つようになってきました。また、県民全体のスポーツに対する関心を深め、体力の向上をはかるよう、体力づくり教室が農山漁村を訪ねたり、親子体力づくり運動や歩け歩け運動、ママさんバレーなどが、県内各地で行なわれるようになりました。

大切にしよう

「大切にしよう」と、交通・観光・通信関係者のサービス向上講習会。県内を花で美しく、各地で、花の会や相談所、フラワーセンターなど、家庭、学校、職場、地域ぐるみで「きれいにしよう」運動と取り組む風景がみられるようになってきました。

黒潮国体を成功させよう。いま会場地市町村では国体実行委員会が結成されています。来年には、国体リハールとして、絶対の機会であるインターハイ(全国高校総合体育大会)が行なわれます。それまでに、施設も、人も、環境も、しっかりと、大切に、きれいにしておくべきものですね。そして、昭和四十六年の黒潮国体には、「明るく・豊かに、たくましく」百万県民の総力で築き上げた、躍進する郷土和歌山県を、全国各地からの参加者に、また、新聞、テレビを通じて、全国に誇示しようではありませんか。

人類の進歩と調和
EXPO'70
2-A0-21
日本万国博覧会

私たち郷土も参加する万国博
この機会に世界を知ろう

- 「和歌山県の日」(45. 6.14～16)で、私たちの郷土を紹介します
- 万国博のお客さまに、紀州路を紹介します
- 郷土の名産・特産品などを展示販売します

会期＝45. 3.15～9.13

＝広報ガイド＝

- 紀州アルバム
毎日テレビ(毎週土曜日) 10:35～10:50 / 四国テレビ(毎週日曜日) 7:45～8:00
《百間溪谷》西牟婁郡大塔村 《知事と語る》三つの誓い
毎日テレビ / 8月9日・16日 毎日テレビ / 8月23日・31日
四国テレビ / 8月10日・17日 四国テレビ / 8月24日・31日
- 広報アワー(和歌山放送 / 12:30～12:35)
《県政の動きやお知らせ》月～金 / 《県政マイクスケッチ》土
- 県政映画
県政トピックスNo.2《あすをたくましく》～35mm・シネマスコープ～
8月中旬に県内常設映画館で上映します

紀州の大動脈 完成

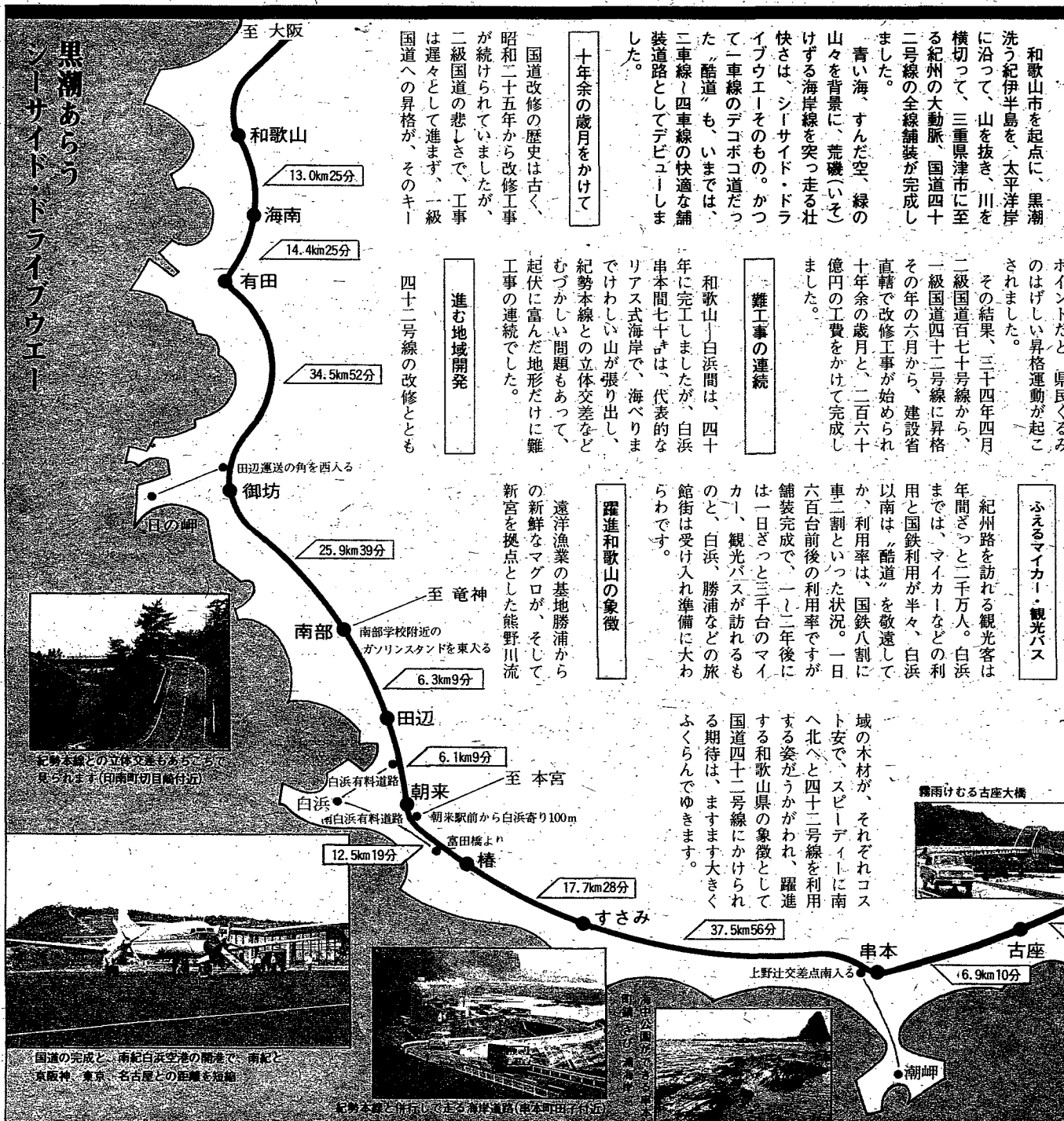
和歌山市を起点に、黒潮洗う紀伊半島を、太平洋岸に沿って、山を抜き、川を横切って、三重県津市に至る紀州の大動脈、国道四十二号線の新全線舗装が完成しました。

青い海、すんだ空、緑の山々を背景に、荒磯(いそ)けずる海岸線を通り、走る快さは、シーサイド・ドライブ一車線のデコボコ道だった「酷道」も、いまでは、二車線、四車線の快適な舗装道路としてデビューしました。

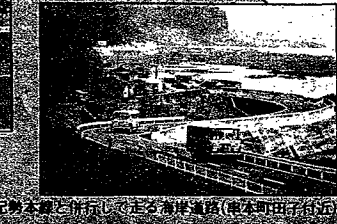
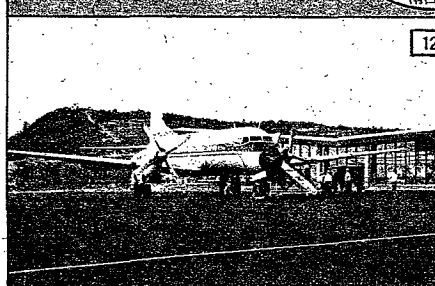
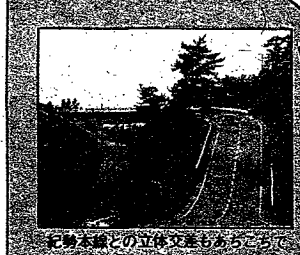
和歌山―白浜間は、四十年に完工しましたが、白浜串本間七十里は、代表的なリアス式海岸で、海べりまでけわしい山が張り出し、紀勢本線との立体交差などむづかしい問題もあって、起伏に富んだ地形だけに難工事の連続でした。

紀州路を訪れる観光客は年間三、四千万人。白浜までは、マイカーなどの利用と国鉄利用が半々、白浜以南は「酷道」を敬遠して、利用率は、国鉄八割に車二割といった状況。一日六百台前後の利用率ですが、舗装完成後、一、二年後には一日三、四万台のマイカー、観光バスが訪れるものと、白浜、勝浦などの旅館街は受け入れ準備に大わらわです。

紀州路を訪れる観光客は年間三、四千万人。白浜までは、マイカーなどの利用と国鉄利用が半々、白浜以南は「酷道」を敬遠して、利用率は、国鉄八割に車二割といった状況。一日六百台前後の利用率ですが、舗装完成後、一、二年後には一日三、四万台のマイカー、観光バスが訪れるものと、白浜、勝浦などの旅館街は受け入れ準備に大わらわです。



黒潮あらう
シーサイド・ドライブ一車線



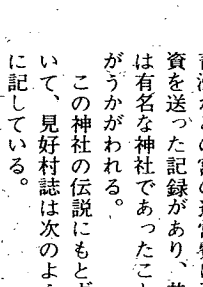
十年余の歳月をかけて
国道改修の歴史は古く、昭和二十五年から改修工事が続けられてきましたが、二級国道の悲しきで、工事は遅々として進まず、一級国道への昇格が、そのキ...

難工事の連続
和歌山―白浜間は、四十年に完工しましたが、白浜串本間七十里は、代表的なリアス式海岸で、海べりまでけわしい山が張り出し、紀勢本線との立体交差などむづかしい問題もあって、起伏に富んだ地形だけに難工事の連続でした。

躍進和歌山の象徴
遠洋漁業の基地勝浦から新鮮なマグロが、そして新宮を拠点とした熊野川流...

ふえるマイカー・観光バス
紀州路を訪れる観光客は年間三、四千万人。白浜までは、マイカーなどの利用と国鉄利用が半々、白浜以南は「酷道」を敬遠して、利用率は、国鉄八割に車二割といった状況。一日六百台前後の利用率ですが、舗装完成後、一、二年後には一日三、四万台のマイカー、観光バスが訪れるものと、白浜、勝浦などの旅館街は受け入れ準備に大わらわです。

ふんばり虫の話



兄井(あにい)の八幡奥にある。昔、この地に神社があった頃、社壇の中に樫(くぬぎ)の大樹があった。これをご神体として祀(まつ)り、折願(おれがね)のものは、小さい樫(かま)をこの樫(くぬぎ)に打ち込んで神に献じた。

折願が成就すると、その樫が樹にはいること次第に深く、かなわぬ時には落ちるといわれ、根元より上方約二丈の間に樫を打つこと恰(あたかも)蓑(みの)の如く全く奇観であったと伝えられ、社前には樫を売る店があつて、参詣(まじり)の人の中には、一時に千挺(ちよろ)を打ち込むものもあつたといわれる。

昔、この村に、諏訪(すわ)次郎右衛門という人があつて、村の鎮守諏訪神社の境内(けいだい)に仮殿を造つて、八幡宮を祀り、神霊を社内の樫樹に託(たく)して、樫樹の側の小社は諏訪の神である。

鎌八幡宮の名が盛んとなつて、本社の神名は人知れず、あるいは誤つて天照皇太神(あまてらすおほみのかみ)宮をいい、諏訪家の代々はこの宮の神主をつとめてきたが、元和の頃(今から三百五十年程前)の火災に旧記を灰燼(じん)に帰した為、伝説の詳記を失つてしまった。

諏訪家の末葉を望月(もちづき)嘉(か)八郎といひ地主が神主を兼ね、高野山より鎌八幡宮に神酒(のみき)料として毎年大豆六斗の寄進を受けていたものである。また、妙寺の田村伝助盛んなりしころは、この八幡宮に寄進しているし、華岡

鎌八幡宮の由来

青洲がこの宮の造営費に浄資を送つた記録があり、昔は有名な神社であつたことがうかがわれる。

この神社の伝説にもとづいて、見好村誌は次のように記している。

「元讀岐(さぬき)の国屏風(びょうぶ)が浦にあつた弘法大師の産土神(うぶすな)で神功(じんぐ)う皇后三韓征伐の際用いたという、幡と熊手をご神体として祀つていた。

ところが弘法大師が、高野山を開創して後、幡は彼(かの)の地より飛来して、兄井のカシウ島の松の木にかつた。時に高野山の六役が夢告によつてこれを知り、これを採つて高野山に移した。

このことがあつて、ある日、八龍が巨口より火を吐(は)きながらかのぼるのを見た大畑の鬼五郎次郎という人が、当時の諏訪明神の神職と共に紀の川に赴(おもむ)き、これを見るに二人は恐れて近づけず、神職は手にしていた笈(きゆう)を持って暫(しばらく)く伏し居たところ、白龍は忽(たちま)ち、小さくなつて、(ついで)に二箇(に)の熊手となつた。そこでこれを諏訪明神の傍(そば)に鎮座しようとして、暫く熊手を樫樹(かき)にかけ、鎌をもつてあたりの萱(かや)を刈(な)ぎ休息しようとして、鎌を樫樹に打ち込み、再びこれを取らんとしたが、どうしても鎌はとれない。これを聞いて夢告による、熊手をまた同山に収めた。

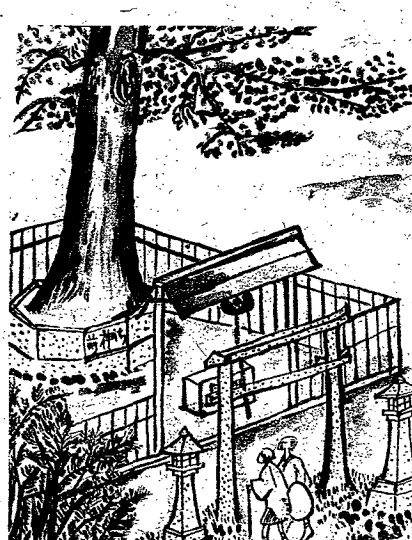
これよりこの樫樹として祀るようになったという。」

この幡と熊手は、ながく高野山に祀られていたが、明治二年(一八六九年)、鎌八幡宮に遷座し、同四十二年(一九〇九年)三谷の丹生(にゅう)酒殿神社に合祀の際、幡と熊手を宝物として、同社に納められた。

また、紀伊統風土記の著者仁井田好古が、天保年間この地を調査した際に、樫樹の奇観を眺めて眼をみはり、これを詩に詠(よ)んだ「三谷庄九居村八幡記」はこの撰(せん)文を石に刻み、碑としたが、この石碑も丹生酒殿神社に移され現在社前の左側に建立されている。

(かつらぎ町誌より)

カットは、「紀州国名所図会(中巻、伊都郡編)」の「鎌八幡の図」から模写しました。



結核定期健康診断のお知らせ

満6歳以上の方々(学校、工場、事務所などにおつとめの方は除く)を対象に無料です。詳細は、役場または保健所で

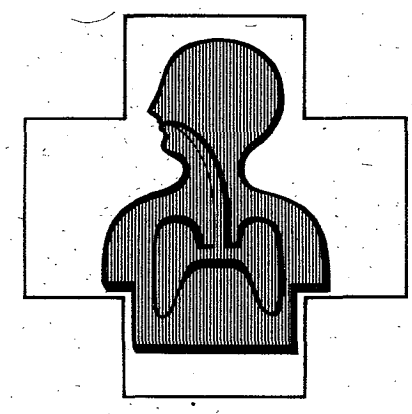
海 南 市	8月1日～22日
美 里 町	8月25日～9月12日
打 田 町	9月1日～13日
かつらぎ町	8月19日～23日
龍 神 村	9月1日～6日
田 辺 市	8月20日～22日 8月25日～29日 9月1日～5日 9月8日～12日

看護婦さんをさがしています

和歌山県の病院・診療所では、看護婦不足で困っています。

県では、現在、家庭でおられる看護婦などの資格を持っている方がどれほどいられるか実態調査を八月一日から行ないます。

該当の方は、住所・氏名・生年月日・免許の種類を、県衛生部医務課、保健所、または市町村役場へご連絡ください。



漫画の頁 漫笑街がV-P 木村 清



衛生害虫の全滅作戦

伊都地方でいっせいに



家のまわりや水田の病害虫をいっせいに退治して、きれいな、住みよい町にしよう。七月十三日、伊都地方で病害虫全滅作戦が展開されました。

地区単位で、バラバラに防

いままで、ひとつの町や

町内の青年団も噴煙機を

かっいで大活躍



「市価二千円のワイシャツを半額で大奉仕」このようなハテな特売広告がみられる最近です。しかし、消費者のみならず、買う前にちよつとご注意ください。この場合、ほかで、二千円で売られていたものとくらべて粗悪品であつたりある期間だけ、わざとつけた高いねだんを対象にして売つてい

「二重価格に注意しましょう」消費者の皆さんも、お買いものをする際、こうした二重価格に注意されるときも、不審な場合は、さつそく、県庁県民生活室か、もよりの県事務所総務課県民係へご連絡ください。さうお願いいたします。

「あなたの善意を青少年奉仕銀行へ」花だんの手入れの好きな人、日曜大工の白慢な人、手品のじよすな人、童話のできる方、レクリエーション指導のできる方、絵や写真の好きな方、ぼくはなにもできないが、お仕事をならし」といわれる人など、あなたの特技や才能を和歌山県青少年奉仕銀行へ預金(加入)してください。多くの青年が、少年少女が加入して、自分のために社会のために、時にはいっせうすい人たちのために奉仕しています。詳細は、県庁青少年局育成課、または、同銀行(和歌山市上野町J.Cビル、和歌山青年会議所内)へ。

水田の防除も、ガヤハエの撲滅にはかせません

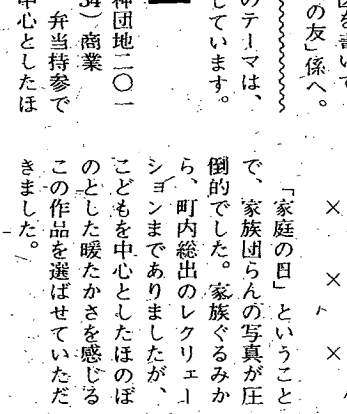
町内の水田千七百四十五段、家屋二万四千三百四十五軒を、はじめ、畜舎、鶏舎など。一般家庭では、各町内ごとに噴煙機によるDDVP薬剤、水田にはダイアジノン粒剤を散布し、ツマグロヨコバイやコガタアカイエカ、バエなどを駆除しました。長雨もやみ、カラリと晴れた日曜日とあつて、子どもたちもお手伝い。家族

共同防除をみんなの手で、小学生からもボスター作品を募集しました(九度山町で)

除作業がおこなわれていたが、それでは、一カ所がきれいになつても、衛生害虫がよそに逃げてしまいたいした成果があげられませんでした。

そこで、伊都県事務所、高野口保健所など県の出先機関、それに、市町村、農業共済連合会などが中心となつて、地方ぐるみで家のまわりだけでなく、衛生害虫の多発源である水田防除作業も行なうことになったのです。もちろん、県下では、はじめてのころみ実施地域は、高野町、花園村を除く伊都郡内の全市

みごとな合掌づくり 県立武道館が完成



権現山の緑を背景にした合掌づくり、古風な白壁の建物で、延べ八百三十平方、総工費は三千五百万円。内部は、柔剣道場(各二百九畳)と拝殿、更衣室などに分かれています。黒潮国体をめざして、柔剣道の強化練習などに使用される県下初の本格的武道場です。

県民の体育、スポーツ振興を図ろうと、ことし一月から和歌山市和歌浦、東照宮下に建設工事をすすめていた県立武道館が完成しました。

一般の使用できる時間は午前九時から午後九時まで使用料も低廉です。詳細は、県立体育館(電話〇七三四二二四一〇八)へ

作品募集 今月のテーマ 「交通事故をなくそう」 九月十日 規格 白黒でキヤビネ



「家庭の目」ということで、家族団らんの写真が圧倒的でした。家族ぐるみから、町内総出のレクリエーションまでありましたが、こどもを中心としたほのぼのとした暖かきを感じたこの作品を選ばせていただきました。

すまいの照明

最近、室内装飾に関心をもたれるご家庭が多いようですが、ちよつとした照明の工夫で、お部屋の感じが、がらりと変わります。住宅の照明には柔かい、あたたか味のある光源がよく、白熱灯による、ムード照明がよくつかわれます。

へやの広さ	電球 (ワット)	けい光灯 (ワット)
10 じょう	150	40×2
8 じょう	100	30×2
6 じょう	75	20×2
4.5 じょう	60	30(または15)×2
3 じょう	40	20
台所	75	20×2
浴室	40	20
便所	20	10
スタンド	40	15

へやの広さと電灯の大きさ

へやの広さ	電球 (ワット)	けい光灯 (ワット)
10 じょう	150	40×2
8 じょう	100	30×2
6 じょう	75	20×2
4.5 じょう	60	30(または15)×2
3 じょう	40	20
台所	75	20×2
浴室	40	20
便所	20	10
スタンド	40	15

とき 8月19日(火) ところ 田辺保健所

とき 8月25日(月) ところ 有田県事務所

移動県民相談室 当日は、一般相談のほか、中小企業金融相談、交通事故相談、内職相談、弁護士が担当する無料法律相談も同時に行ないます。

観光地へシャブ



美里町に国民休養施設

自然美生かして観光の町へ

海草郡美里町、西牟婁郡大塔村、この二つの町は、いま恵まれた自然美を生かした観光開発に懸命です。

緑の山、温泉、渓谷美と眠っていた観光資源に目を当てるとともに、過疎に悩む山村を、希望のある人の集まる山村にしようというものです。

「紀北の秘境」といわれる美里町に、国民休養施設「かじか荘」が完成。五月二十四日にオープンし、すでに予約申し込みも快調。かじか荘は、八十八収容冷暖房完備。総工費八千五百万円の鉄筋二階建て。売りのものは、温泉、食膳の清流魚、山の幸。泉質は、無色透明の単純硫化水素泉で俗にいう「美容温泉」。皮膚病、リウマチ、関節炎、胃腸病、糖尿病、婦人病それに疲労回復によくきくというところです。また、料金は、国民休養施設とあつて一泊二食付き千五百円と超格安。

この「かじか荘」は、美里町が過疎の町から観光の町に脱皮する第一拠点として建設したもので、このほか、町内を流れる貴志川に大々的な稚アユを放流、観光

2つの山村に明るい話題

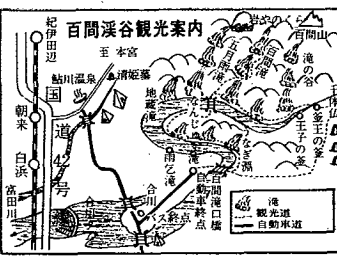
ソクツとする涼しさ。豪華な滝水の落下音。ふたおい釜（がま）、梅太郎淵（ぶち）、なんじゅうの壺（つば）、雨乞（こい）、滝、五月雨（さみだれ）滝、大滝滝など、弘法大師が一夜のうちに掘ったとい伝えられるこの地方では、壺とか釜と光アユの本場にする計画や、かじか荘の近くに青少年広場をつくらせ、キャンプ場にする計画、紀州の吉野といわれる熊野神社の將軍様を中心とした桜の名所づくり、みかん、柿、栗、わらび狩りを楽しんでもらうなど、温泉との立体開発が考えられています。

詩情あふれる

百間溪谷

かかわれる大小二十数カ所の欧穴（滝水の落下でできた穴）。落ち葉を踏み、こけむした岩ハダをつたい、清流に映える青葉のにおいをかぎながら探勝する、まさに野性味満点の百間溪谷村が、数年前から鉄筋のハシゴやセメントで足場をかためるなど整備をしており、最近では、観光バスでくる客もあり、遊歩道やキャンプ場をつくらせ、溪谷美をさらに引き立てようという計画が立てられています。

大塔村といえは、大塔山や清姫塚、鮎川温泉、合川



広域観光ルートとして開発

ダムといった観光地、それに、盆栽づくりの盛んな深谷地区といった、都会の人には珍しいところが多く、村役場の電神企画員は、「将来は白浜―深谷―合川ダム―百間溪谷―日置川下り―椿（つばき）温泉といった広域観光ルートにして、観光客を呼び入れ、過疎でさびれゆく村に明るさをとり戻したい」と話しています。

県でも、こうした「点から線、さらには面への観光」に積極的で、六月五日には、地元県議会



青葉と滝の仙（そま）道コースはまさに野性味満点

県議会だより

六月定例会において各常任委員会および議会運営委員会の委員の改選が行なわれ、次のようにきまりました。

また、従来の特別委員会が廃止され、改めて六つの特別委員会が設置されました。

(◎委員長◎副委員長)

- ◎委員長◎副委員長
- ◎総務委員会
- ◎丸山 弘 ○八木 正
- 下西岩吉 土橋常一
- 矢川喜英 福本 弥
- 丸山輝雄 長田嘉一
- ◎厚生委員会
- ◎的場鹿五郎○浦 武雄
- 下川舜三 土肥正敏
- 坂久五郎 竹中 節

- ◎文教委
- ◎辻岡栄助
- ◎楠見勝寛 ○森 利一
- 妙中正一 町田義友
- 山形繁雄 堀坂治郎五郎
- 坂井弘一 窪田憲一
- ◎土木委員会
- ◎西村忠重 ○吉岡 茂

- ◎経済委員会
- ◎田中実三郎○榎野九爾明
- 岡本 保 矢野岩太郎
- 前田信一 浜本 収
- 鍋島隆雄
- ◎議会議事委員会
- ◎前田増一 ○矢野岩太郎

- ◎山形繁雄 ○浜本 収
- 下川舜三 土肥正敏
- 坂久五郎 矢野岩太郎
- 丸山輝雄 長田嘉一
- ◎水・砂利対策特別委員会
- ◎妙中正一 ○辻岡栄助
- 前田信一 大川敏一
- 中本重夫 的場鹿五郎

- ◎田中実三郎
- ◎町田義友 ○大橋栄一
- 下西岩吉 榎野九爾明
- 山崎利雄 榎野 勇
- 貴志八郎 森岡辰男
- 窪田憲一
- ◎医大問題対策特別委員会
- ◎矢川喜英 ○丸山 弘
- 浦 武雄 山下柳吉
- 福本 弥 丸山輝雄
- 吉岡 茂

常任委員会、特別委員会とも委員長ら改選

六月定例会において各常任委員会および議会運営委員会の委員の改選が行なわれ、次のようにきまりました。

また、従来の特別委員会が廃止され、改めて六つの特別委員会が設置されました。

(◎委員長◎副委員長)

◎総務委員会

◎丸山 弘 ○八木 正

下西岩吉 土橋常一

矢川喜英 福本 弥

丸山輝雄 長田嘉一

◎厚生委員会

◎的場鹿五郎○浦 武雄

下川舜三 土肥正敏

坂久五郎 竹中 節

◎文教委

◎辻岡栄助

◎楠見勝寛 ○森 利一

妙中正一 町田義友

山形繁雄 堀坂治郎五郎

坂井弘一 窪田憲一

◎土木委員会

◎西村忠重 ○吉岡 茂

◎経済委員会

◎田中実三郎○榎野九爾明

岡本 保 矢野岩太郎

前田信一 浜本 収

鍋島隆雄

◎議会議事委員会

◎前田増一 ○矢野岩太郎

◎山形繁雄 ○浜本 収

下川舜三 土肥正敏

坂久五郎 矢野岩太郎

丸山輝雄 長田嘉一

◎水・砂利対策特別委員会

◎妙中正一 ○辻岡栄助

前田信一 大川敏一

中本重夫 的場鹿五郎

多彩な攻撃がバレーの魅力

最近、県内各地で、マッサンバレー、親子バレー大会と、地域ぐるみでバレーボールを楽しむところがあふえています。

「やはり、日ソ親善試合などを招いてファン層の拡大につとめたのが、成功したのだしょう」と、寒川次郎・県バレー川次郎・県バレーボール協会理事長は、また、団体を含めた選手強化にもおこたひはありません。四十二年から中学生の六人制大会を開いており、昨年は近畿で、女子は優勝、男子は準優勝と、高校の部の明るい材料となつてい

警察官の採用試験

採用予定人員 約六十人

受験資格 学歴を問わず、昭和十八年四月一日から昭和二十六年四月一日までに生まれた男子。なお、来年三月までに高校卒業見込みの者で、昭和二十七年四月一日までに生まれた者も受験できます。

試験日 八月二十四日(日) 和歌山市・田辺市・新宮市

受付付付期間 八月十六日(土)まで

詳しいことは、県人事委員会事務局、県警察本部警務課、もよりの警察署へ。

中小企業の管理者研修

八月二十五日(九月十六日)

新宮商工会議所 対象は、商業経営者

九月十六日(十月十一日)

御坊商工会議所 対象は、工業経営者

九月二十四日(十月十九日)

橋本商工会議所 対象は、商業経営者

申し込み、詳細は、各商工会議所へ。

家具製品製造業の最低賃金七百十円に

八月一日から、県内の家具製造業、宗教用具製造業、建築製造業、その他の家具製造業の事業主の方は、労働者に対して一日七百十円以上の賃金を支払うことが義務づけられました。しかし、軽易な作業(清掃、湯沸し、廃材の結束の業務)は、一日六百三十円です。

この最低賃金の決定は、五月二十二日、和歌山労働基準局長が、和歌山地方最低賃金審議会の答申にもとづき決定したものです。詳しいことは、もよりの労働基準監督署へ。

全国消費実態調査の協力お願い

この調査は、農林漁家を除く消費者世帯の家計の実態を、五年ごとに調査する大規模な調査です。消費者物価、商品の購入先、耐久消費財の所有状況、貯蓄状況、住宅事情などを調べ、家計水準や消費意識をつかひ国民(県民)所得計算の基礎資料とするほか、流通機構整備対策など、経済、社会政策の立案、地域開発計画、地域格差の測定資料として活用されます。

県内では、七市かつらぎ町、岩田町、日高町、上富田町、串本町で普通世帯五百五十二世帯のほか、若干の単身者世帯が調査対象となっています。調査日は、九月十一日中ですが、調査地区が薄、調査対象となった世帯の作成のため八月から調査員がおうかがいしますので、ご協力を願います。

あみもの技能検定

あみもの理論と実技を全国的な水準によって判定し、今後の向上に役立てるための技能検定です。

級別 技能の熟練度により、一級、二級に分けて行ないます。

試験日 九月二十一日(日)

試験場 和歌山市 桐蔭高校

田辺市 田辺高校

受験料 一級千五百円、二級千二百円、三級千円、四級七百円

申し込み、問い合わせは、もよりのあみもの教室(審査員)、または県教育委員会社会教育課へ。

国民年金に不服があると

きは審査制度の利用を

提出年金 福祉年金には、県から受けたいろいろな決定や処分について、加入者や受給権者のみなさんが、納得できないことがある場合は、不服の申し立てをすることができるとあります。

これを審査請求といいます。

みなさんがたのなかに、納得のいかない取り扱いを受けた場合は、遠慮せずに審査請求をしてください。審査請求は、たとえば「年金を受けられなくなった」というような通知を受けた日から六十日以内と定められています。その請求の方法は、ハガキでも、電話でもよいのです。

また、社会保険審査官が審査したことについて納得できないときは、厚生省内の社会保険審査会へ再審査請求をすることもできます。

審査申し立て先 和歌山市小松原通り一丁目 県民生部国民年金課内 社会保険審査官 電話(二三)三四四